

第1回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成29年9月27日（水）
開 会：10時00分
閉 会：11時55分
2. 開催場所 庄原市役所 5階 第2委員会室
3. 出席委員 石川芳秀 委員（委員長） ・ 清水孝清 委員
荒木和美 委員 ・ 若林隆志 委員 ・ 齋藤万由美 委員
檀上理恵 委員 ・ 水戸美代子 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席職員 総務部 行政管理課 広報統計係長 麻田英志
生活福祉部 高齢者福祉課長 藤井皇造
生活福祉部 高齢者福祉課 高齢者福祉係長 六原善博
総務部 行政管理課長 山根啓荘
総務部 行政管理課 行政管理係長 下森一克
総務部 行政管理課 行政管理係主任 横山敬之
総務部 行政管理課 行政管理係主任主事 川島球花
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第 1 回庄原市行政評価委員会次第

平成 29 年 9 月 27 日（水）10：00 から
庄原市役所 5 階第 2 委員会室

1. 開 会

2. 行政管理課長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 平成 28 年度の行政評価結果について 資料 1

5. 平成 29 年度の行政評価について

(1) 第 2 次評価対象事業の概要説明 資料 2

(2) 委員会選定評価事業 資料 3

6. 評価対象事業の説明

(1) シティプロモーション事業（2 市 2 町広報テレビ番組）資料 4 ～ 資料 8

(2) 庄原市敬老祝金支給事業 資料 9 ～ 資料 14

7. その他

8. 閉 会

会 議 経 過

1. 開 会

2. 行政管理課長あいさつ

皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本年度は二年目となりますが、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、評価をいただいた結果については、庁内で検討し、その結果について、本年度予算にも反映させていただきましたので、その後の経過として報告させていただきます。

行政評価は、市が実施している事務や事業に関し、「住民にとっての効果は何か」「当初期待したとおりの成果は得られているか」などの視点をもって評価・検証し、その結果を次年度以降の事業実施に生かしていく手段のひとつであり、新たな事業を「する・しない」ではなく、既存事業について「続ける・やめる」または「見直す」ことについての判断材料となります。

本市におきましては、平成 26 年度から本格実施しているものでございまして、「市民の参画を得て評価を行い、その結果を公表する」とのまちづくり基本条例の趣旨に則り、インターネットを活用したプランナーモニターからの市民意見の聴取や行政評価委員会での多角的な視点からの意見を参考とし、事業方針を決定することとしています。

それぞれの視点から忌憚のないご意見、ご提案を賜りますよう、お願いします。

3. 委員長あいさつ

約一年ぶりの委員会となりました。これから寒い時期となりますが体調に留意され、この委員会が市民にとって実りあるものとなりますようお願いいたします。

本年度、42 事業の一次評価事業が選定されており、市より 6 事業がこの委員会での評価対象事業に選定されています。また、委員会として 2～3 事業を追加で選定することとなっております。

効果的かつ効率的な事業が実施できますよう、委員皆様の活発なご意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

4. 平成 28 年度の行政評価結果について 資料 1

－ 事務局より資料説明 －

平成 28 年度評価対象事業の今後の事業の方向性の結果は、次のとおり

- 1 生ごみ処理容器等購入補助金・・・拡充
- 2 新婚世帯定住促進補助金・・・現行どおり
- 3 農地利用集積促進事業補助金・・・現行どおり
- 4 庄原市シティプロモーション・・・拡充
- 5 高齢者世帯雪下ろし支援補助金・・・現行どおり
- 6 保育所児童送迎業務・・・現行どおり
- 7 地域マネージャー活用事業交付金・・・事業のあり方を検討
- 8 ひろしまの森づくり事業（環境貢献林補助金）・・・現行どおり

委員：「3 農地利用集積促進事業補助金」について、資料によると平成 29 年度当初予算額と平成 28 年 12 月補正予算後の額に乖離があるが、その要因はなにか。

事務局：平成 28 年度当初は県予算の追加配当を見込み多めに予算計上していたが、3 月補正で減額をしており、結果として平成 28 年度決算額は、平成 29 年度当初予算と同水準となっている。

委員：「4 庄原市シティプロモーション」について、ホームページの充実とあるが、市のホームページのトップページにあるイベントカレンダーにイベントの掲載がほとんどされていない。

10 月には各地でまつりがあるが、掲載されていない。市外からの来訪者は事前に市のホームページを観ると思うので、致命的であり、これは最低限改善すべきである。

事務局：ご指摘のとおり掲載が不十分であることは認識しており、早急に改善したい。

5. 平成 29 年度の行政評価について

(1) 第 2 次評価対象事業の概要説明 資料 2

－ 事務局より資料説明 －

一次評価：4 2 事業を選定

二次評価対象事業として、事務局より 6 事業を選定している。

【事務局選定事業】

- 1 シティプロモーション事業（2 市 2 町広報テレビ番組）・・・担当課評価 事業のあり方を検討
- 2 敬老祝金支給事業・・・担当課評価 現行どおり
- 3 乳幼児等医療費助成事業・・・担当課評価 現行どおり
- 4 配合飼料利用支援事業補助金・・・担当課評価 事業のあり方を検討
- 5 森林資源活用事業（木質ペレット等利用促進補助金）・・・担当課評価 事業終了
- 6 道路草刈り作業実施交付金・・・担当課評価 現行どおり

(2) 委員会選定評価事業 資料 3

事務局：一次評価対象事業一覧の資料の中から評価委員会の選定事業として、2～3 事業程度を次回の委員会で二次評価対象事業として選定いただきたい。

なお、本年度は市としては行政事務の改善を行いたいと考えており、担当課評価が「終了」または「事業のあり方を検討」としている事業より選定をいただきたいと考えているが他の事業を選定いただいても結構である。

委員長：それでは、各自、一人あたり 2～3 事業を持ち寄っていただき、次回に候補事業の検討をお願いします。

6. 評価対象事業の説明

(1) シティプロモーション事業（2 市 2 町広報テレビ番組） 資料 4 ～ 資料 8

－ 事務局より評価シート及び資料に基づき説明 －

－ ひろおく便りの動画を視聴 －

委員：プラモニの意見が分かれていることにもつながるかもしれないが、現在の放映時間では勤めをしている方は視聴が難しいので、ターゲットを絞って訴求していくというのは検討した上で、この時間帯としたのかお伺いしたい。

事務局：この時間帯は、広島テレビから提案があり、他の自治体の広報番組と比較しても前後の番組

の関係もあり視聴率が高く、月曜日であり野球放送がないこと等から番組が固定している時間帯である。広島テレビの同ランクの枠内では、一番いい枠である。もっとゴールデンタイムに近づいたほうが視聴率は高くなるが、本来1,800～1,600万円くらいかかる枠であるが、2市2町での実施ということで1,160万円での提案をいただいている。

委員：月曜日が祝日でも放映しているのか。

事務局：年末年始を除き、平日でも祝日でも放映している。

委員：呉市や三次市等も実施していると思うが費用比較をした資料があるか。

事務局：三原市がテレビ新広島で月曜日の午後9時54分から10時までで2,000万円、広島県が同じくテレビ新広島で水曜日の午後9時54分から10時までで2年間で9,982万円、三次市が広島テレビで火曜日の時間帯は庄原市と同じ午後6時55分から7時までで1,100万円、福山市が水曜日の午後6時55分から7時までで1,150万円、広島市は3本あり、日曜日の午後8時54分から9時まで、火曜日と木曜日の午後9時54分から10時まで、いずれも2,546万円となっています。

委員：介護や福祉の関係の協議会で番組を作っているが、テレビだけでなくYouTubeでも過去動画を掲載し、QRコードも活用しているがホームページからのリンクでないと難しいのか。

事務局：テレビ局に放映権等の権利があり、観光施設等でも放映したいが難しい部分もあり、現在は市役所1階ロビーの大型モニターで放映している。今後、テレビ局と協議し模索していきたい。

委員：これは3年間の契約か。

事務局：単年度契約となっている。

委員：中止ということもあり得るのか。

事務局：2市2町の担当者会議では1市町でも抜けると継続は困難であるが、庄原市の判断として場合によっては中止ということも含めて、評価いただきたい。

委員：予算の関係もあるが、庄原市単独の方がインパクトがある。

委員長：ひとつの選択肢であるので、各委員で次回までに研究いただきたい。

(2) 庄原市敬老祝金支給事業 資料9 ～ 資料14

－ 事務局より評価シート及び資料に基づき説明 －

委員：他の市町では郵送や振込みの方法によるところもあるが、庄原市では市長又は職員が直接訪問のうえで手渡し、施設等の場合は施設等へ出向いているという理解でよろしいか。

事務局：事務局でアンケート調査を行い、直接受け取られるという場合には日程調整を行い、市長が訪問し、家族の方も同席をいただきお渡しをしている。市長の訪問までは希望されない場合は、旧庄原市地域にあっては高齢者福祉課職員、支所管内にあっては支所職員が訪問している。また、施設の場合は施設へ市長等が出向いており、場合によっては施設でお祝いの会もある。

委員：プラモニ意見にあるが、現在、庄原市では地域で使える商品券はあるのか。

事務局：現在は、一定額以上発行する場合は供託金が必要である等、手続きが複雑であり、庄原市の現行制度ではないと思う。商品券とは少し違うが、木の駅プロジェクトという制度があり、東城地域の商工業者で使用できる「里山券」というものはある。

委員：平成29年度の対象者はどのくらいか。

事務局：100歳以上の方は76人おられ、うち、100歳到達者は27人である。

委員：祝い金総額はいくらになるか。

事務局：103万円になる。

7. その他

委員長：それでは、各自、次回までに候補事業の検討をお願いします。

事務局：次回、第2回の委員会において、本市の財政推計等の説明を行いたい。

委員長：次回の会議は、平成29年10月4日(水)の午前10時から行う。

8. 閉 会